

私立大学情報教育協会
平成26年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

B班2グループ

1

発表テーマ

学生のために何ができるか

2

学生のために何ができるか

大学の役割

私たちが考えた大学の役割

- ・教育：優秀な人材の育成、探究心と意欲の向上を促進、社会人マナーの会得
- ・研究：専門知識を活かした地域社会への貢献

学生の傾向

- ・インターネットの普及による情報収集の簡素化
 - ・学習意識や探究心が希薄
 - ・SNSの普及による直接的なコミュニケーション力の低下
 - ・受動的な姿勢のまま主體的に学ばなくてはならない環境へ適応できない
- ⇒窓口業務で科目履修の方法がわからない学生が多く見受けられる

3

学生のために何ができるか

このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

大学職員として、『学習意欲の向上と学生満足度を向上させるために何ができるか』に焦点を置いて議論しました。



学生のために何ができるか

4

学生のために何ができるか

改善策の検討

1. スペースの確保と提供及び活用法
2. 学生の要望の反映

5

学生のために何ができるか

大学のイノベーションの提案

1. スペースの確保と提供及び活用法

- ・図書館の多目的利用の推進

⇒ 図書館を学生の学びの場として今以上に活用する(ラーニング commons の設置)

従来の利用目的

- ・テスト及びレポートの期限直前での追い込み
- ・休憩

ラーニング commons の導入

学生同士によるグループワーク



学生の主体性が育まれる

6

学生のために何ができるか

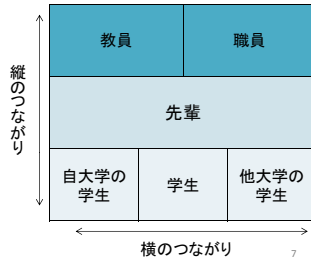
大学のイノベーションの提案

1. スペースの確保と提供及び活用法

・ 課外活動の活性化

⇒ 先輩後輩及び教員等との関係作り、
社会性の習得、地域社会との関わり

**組織で行動をすることの大切さ
を学ぶきっかけをつくる**



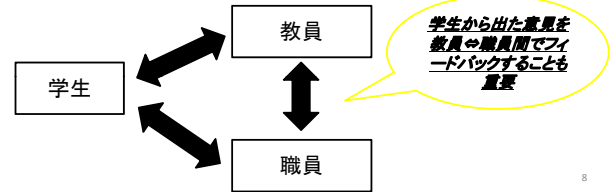
学生のために何ができるか

大学のイノベーションの提案

2. 学生の要望の反映

・ 教員、学生、職員の三者が集まることのできる食堂の有効活用

⇒ 三者が集まる最も身近な場である。気軽に意見交換ができる



学生のために何ができるか

大学のイノベーションの提案

2. 学生の要望の反映

・ ICTの積極的活用

- ⇒ WEB上での授業改善アンケートの定期的な実施
→ その結果を授業内容及びシラバスに反映させる
- ⇒ 講義内容の配信
→ 校地間配信(テレビ会議システム)
→ WEB配信(YouTube等動画配信サイト活用)
- ⇒ クリッカーの導入等による参加型講義の推進



9

職員 = かけ橋!

